

子どもたちからのSOS～不登校の問題～

子どもを取り巻く状況は厳しいといわれますが、それを表すものとして「不登校」の問題があります。不登校は、どの子にも起こりうる問題です。また、その保護者が、「子育てを間違えた」と思い、誰にも相談できずに悩み苦しむといった現状もあります。

不登校は特定の子どものみ特有の問題があることによって起こるものではありません。「子どもは社会の鑑^{かがみ}」といわれますが、不登校はその原因・背景に、学校、地域、家庭、そして社会のさまざまな問題が複雑に絡み合っ

て起こる問題です。「うちの子や孫は大丈夫。関係ない」などと考えず、安心・安全な地域・社会を支えていくひとりの大人として、子どもたちへの関わり方を振り返ってみましょう。

- 県と市では、次のような不登校の未然防止や支援の取組「福岡アクション3」「保護者のアクション3」を推進しています。
- ①毎日、少しの時間でも、子どもと話をしましょう
 - ②機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう
 - ③1人で抱え込まず、周りの人に協力を求めましょう



家庭・地域・学校で不登校の子どもを見守るまなざしをつくりましょう

市では、不登校の子どもやその保護者を支援する取組として、「不登校を考える学習会」を保護者と一緒に行っています。8月26日(土)に、山下英三郎さん(日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長)をお招きして「不登校の子どもの支援にとって大事なこと」をテーマに学習会を行いました。



問題や欠点に焦点をあてるのではなく、子どもがもっている潜在的な力に焦点をあて、それらを発揮できるように支援していくことが大切です。そして、登校・不登校にかかわらず、子どもたち一人ひとりの人格を尊重しながら、かけがえのない存在としての「あなた」という目で見守りましょう。〈学習会より〉

「豊かな子どもとは、理解し、尊重し、支えてくれる人々に囲まれて生きる子ども」といった話もありました。また、参加者のアンケートに「地域の子どもの環境を見ていき、支える方策を考えていきたい」といったことが書かれていました。「子どもたちのために、自分にもできる小さなこと」を考えながら、安心して自分らしく生きることができると社会をつくっていくことが求められています。

不登校を考える学習会・りんく小郡でのサポート

市では、不登校を考える学習会を行い、内容を市のホームページを通して発信しています。また、小郡市教育センター「りんく小郡」では、学校に行けなくなった子どもや保護者のサポートをしています。どうぞ、お気軽にご相談ください。

不登校を考える学習会

【日時】

11月19日(日)／午後2時～ 不登校児童・生徒と保護者のための進路講座
1月12日(金)／午後7時～ 不登校支援の輪を広げよう(講師：木村素也さん)

【会場】

人権教育啓発センター

●問合せ先 人権・同和教育課

小郡市教育センターりんく小郡

不登校親の会・ティータイム

☎72-2111内線532

☎73-4044

☎090-1168-0986(担当：重谷)

